

1. 評価結果概要表

平成 2008年 4月 5日

【評価実施概要】

事業所番号	2090500048
法人名	特定非営利活動法人心
事業所名	グループホーム げんき
所在地	長野県飯田市座光寺3601番地12 (電話) 0265-49-5152

評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成20年3月28日	評価確定日	平成20年5月7日

【情報提供票より】(20年 2月 1日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 19年 3月 28日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	12 人	常勤7人	非常勤5人 常勤換算8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨平屋 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	1,000/1日 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,000 円

(4) 利用者の概要 (2月 1日 現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名	
要介護1		要介護2	2名			
要介護3	4名	要介護4	3名			
要介護5		要支援2				
年齢	平均	88 歳	最低	79 歳	最高	100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人飯田病院、みかさクリニック、小坂消化器内科クリニック、黒柳歯科医院
---------	---------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

認知症高齢者を持つ家族の要望によって、未整備地域だったこの地に1年前工場を改築し「グループホームげんき」が設立された。ホームの近くには、元善光寺があり、お土産店や住宅が立ち並んでいる。法人の「ご利用者は、介護を受ける人ではなく、生活する人」と言う方針のもと職員一同が、利用者との生活を共有し、利用者のホッとした笑顔がみられ、職員の何気ない優しさからくる暖かな人のぬくもりが感じられるホームとなっている。また、施設に入ると季節の生花や利用者の作品など飾られ、台所は利用者と一緒に料理をする場所があり、中央にはホールとともに気軽に腰掛けられる畳の部屋があり、自由を楽しめる空間になっている。職員は常に利用者の身になって考えており、今後さらに地域に根ざした暖かなホームになることが期待できる。

【重点項目への取組状況】

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	施設開設後、初めての外部評価である。
重点項目 ②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	初めての外部評価である。自己評価については、全職員で取り組む事は出来なかったが、今回は管理者、職員全員で取り組み、評価結果についてはみんなの力を活かし、サービス向上を目指す取り組みを期待する。
重点項目 ③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は、グループホームの情報提供や活動内容を知っていただく事から始まっている。今後は幅広い地域の関係者の参加を得ながら、地域住民の理解を広げ活動に繋げていきたい。
重点項目 ④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族の方は、来訪時に、職員と気軽に話が出来ている。家族からの要望や話の内容については、ケア会議等を通じて、全職員に周知し共有している。職員も意識して家族との対話を多く持つように努力している。更に、家族会の設置も検討されているので、出された要望や苦情について、運営に反映していかれる事を期待する。
重点項目 ④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	散歩の時など近所の人とおしゃべりをしたり、時には野菜や料理のおすそ分けを頂いている。しかし、地元の人々との交流の機会が少なく、現在地域への働きかけを検討されている。ホーム発行の「げんき通信」を地元地域へ配布して、地域との交流の機会が多くなる事を期待している。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	認知症高齢者を持つ家族の要望により設立されたグループホームとして、「なじみ・・・、人間らしさ・・・」を理念に掲げ、更にその理念をホームでの生活として具体化され、住み慣れた地域で安心した暮らしを支えるための支援を掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティング時や定例の職員会において、理念を確認し合い、利用者が今まで培ってきた生活を支えるため、管理者と職員は共に理念の具体化を意識的に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域との交流は、なかなかできないが、近所からの差し入れや声かけ等を頂いている。今後計画している。	○	事業所においても、地域活動の参加や地域の資源の活用等、地域と支え、支えられる関係が大切を考えられ計画されているので今後の地域との交流を期待している。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今年度初めて受審である。全員で自己評価できなかったが、評価の意義や目的は全職員に伝え理解はしている。今年度の評価の結果を、事業所の改善に向けた取り組み姿勢が出来るよう、サービスの質の向上に努力をしている。		

グループホームげんき

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	概ね2ヶ月に1回開催され、情報提供やホームの活動等話し合いが行なわれている。委員会のメンバー構成にも地域の人達の参加を働きかけ、今年度の外部評価の結果を踏まえ、意見をもらうように計画している。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業を運営していく上で課題等を市町村担当者に相談して、解決している。今後担当者との関係を築き、事業所の実情やケアサービスの取り組みを伝えていくよう計画している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月ホーム便りや電話で連絡を取り合い、又家族の来訪時には、様子を知らせている。毎月発行の「げんき通信」は、ホームの出来事、お知らせなど書かれており、家族にとっては楽しみとなっている。金銭管理は、出納帳に記入し、家族の来訪時にサインを頂いている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃から家族の方々とのコミュニケーションをとり、話し易い雰囲気になっている。家族から出された意見は職員間で話し合い、反映されている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	数名の職員の交替があったが、利用へのダメージ、家族への不安がないように、常の挨拶により意思疎通行いながら、利用者の状況、状態を把握し対応している。「げんき通信」等を活用し、家族にもきちんと対応している。		

グループホームげんき

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	段階的に研修参加を行っているが、勤務上十分な取り組みが出来ていない。	○	今後、計画的に各機関への研修受講を予定されている。職員が立場、経験等に応じて、段階的に力を付けていくことが出来るよう、年間計画の中で研修を位置付けていく工夫が望ましい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	飯田下伊那地区の連絡会に入会し、近隣のグループホームとの交流を行っている。その中で事例検討等の学習を設け職員のサービスの質の向上に活かしている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始に当たっては、利用者と家族に見学して頂き、ホームの雰囲気、職員との会話を通じて安心して納得した上で、サービス利用ができるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	共に生活しているという実感がある。「畳の拭き方は、畳の目に沿ってふくんだよ」「包丁は、こうやって使うんだよ」など利用者から、生活の技や生活文化の大切さを機会あるごとに教えてもらっている。		

グループホームげんき

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の係りの中で利用者の言葉や行動の表情から、真意を推し測ったり確認している。又、意思疎通が困難な場合は、家族から聞き取っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	その人らしい生活を続けるために、個々の意見や思いを聴き、介護計画を作成し、定期的なモニタリング、カンファレンスを行い、家族的な環境での生活可能になるよう作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(利用者の変化によって、ケア会議を行い、サービス内容を具体的な計画を立てることによって、現状に即した見直しがされている。) 定期的にケア会議が開かれており、一人ひとりの状況に合わせて見直しがされている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人と家族の状況に応じて、通院介助等の必要な支援を行っている。又「家へちよつと行ってみたい」希望のある利用者には、一緒に行くなどの柔軟な対応をしている。		

グループホームげんき

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医、又はホームの協力医との連携を取りながら対応している。家族が通院できない時には、通院介助の方法を家族と話し合いながら支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化、終末期については家族の思いを医師を交えて話し合いを行っているが、ホームとしての方針は統一されていない。	○	話し合いはされているので、その対応指針を基に、マニュアルを整備され、又意思確認書を取り交わすなどされることが望ましい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	契約書にもプライバシー保護は謳われており、説明もされている。毎日の生活の中で理念にも掲げていて、対応の徹底を図っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	家族から、今までの利用者の生活を聴き、1日の流れの中で、常に職員が利用者に合わせて体制で、その人らしさを支援している。		

グループホームげんき

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る範囲で利用者と、盛り付け、配膳、片付けを共に行い、職員も同じテーブルを囲み、楽しい食事をしている。利用者と一緒に採って来た季節の山野草と一緒に調理して、季節感を味わっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者1人ひとりの希望を聴きながら、夕方や夕食後、就寝前にゆっくり入浴して頂いている。介護度が高くなってきているが、「入浴して、気持ち良かった」という実感は表情で感じられる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物干し、掃除、配膳、ごみ片付けなど、利用者一人ひとりの役割がある。又、利用者の力量に応じて、貼り絵の型切り、のりつけ、貼り付けなど楽しんでいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気、利用者の気分や希望に応じて散歩等行っている。天気の良い日はお日様の力を借りたり、てんとう虫が動いている場面を見て、季節感を感じ取っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵をかける弊害を理解しており、外出したような利用者を、見落とすことなくそっと一緒について行き、日中は鍵をかけず自由な暮らしを支援して、常に、利用者のホッとした顔を大切にしている。		

グループホームげんき

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に避難訓練、誘導訓練を行っている。また、連絡網、避難経路等のマニュアルを整備され、非常持ち出し袋も用意している。	○	ホームだけの訓練でなく、地域住民の協力を得て訓練等行うことを期待する。又飲料水や食料等の物品を揃えておく事も大切である。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量の確認、体重の変化の記録をつけ、栄養状況を把握している。(ある程度の)献立を決める時には栄養バランスや水分補給には、気をつけている。	○	定期的に、栄養の専門的な立場から評価検討されるよう計画されているので、アドバイスをもらう事を期待する。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームの中心には利用者が自由に過ごせるホールがあり、畳敷きの場所は、自由に腰掛けられる。ご飯の炊ける匂い、野菜を切る音、壁は季節感のある貼り絵や、生花が飾られ季節感を取り入れ、居心地の良さそうな空間作りを工夫されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は家族と相談され部屋作りを行い、自分が使い慣れた布団やベットが置かれ、思い思いのカレンダーや写真が飾ってあり、利用者それぞれの生活スタイルが感じられる。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。